

水俣湾で毒性調査

県水試では十二日から浅海調査船
「あさみ丸」を水俣湾沖に出動さ
せ水俣病の毒性分布状態を生物学
的に予備調査をすすめている。県
は水俣病と漁業の関連を重視、は
つきりした毒性の海図をつかんで
おこうというもの。

県水試の山本、市来両技師が乗
船、各地点でドレッジにより海

士らの傷害事件については全船
員とも口をつぐんで語っていな
い。十五日もひきつづき取調べ
を行なう。